



剣道を通して 子供たちの健全な心と体を育成

長谷川 定男さん (78歳・埼玉)

来年、創設40周年を迎える埼玉少年剣道部。昭和51年の創設時から指導に当たり、剣道を通して子供たちの健全な心と体を育成しているのが、長谷川定男さんです。

17歳で剣道を始め、剣道歴は61年。現在は、行田市剣道連盟副会長を務める傍ら、同剣道部の師範として子供たちと共に汗を流しています。稽古を通して、技術や体力面を向上させるだけでなく、礼儀や思いやり、ままりを守ることなど精神面も鍛えることを目指している長谷川さん。自身の指導について「私は、心も体も健全な人間を形成していくことに最も意識を置いています」と力強く語ります。この方針は、39歳のときに指導者として歩み始めたころから全く変えていないそうです。



長谷川さんの指導は、至ってシンプル。厳し

さの中に、子供たちそれぞれの良いポイントを褒めて、長所を伸ばすことを心掛けています。その理由を「剣道は防具が重しい、竹刀が当たると痛いだからね。子どもにとって、つらいと思つことが多くははずです。でも、きつい稽古をやり遂げたり、試合に勝つたりすると子供たちは心身共に必ず成長していきます。私はその姿を見届けたいのです。厳しいだけの指導をして、剣道を辞めてしまつのは悲しいですからね」と語ります。

長年、子供たちの指導を行うことで、自身の体力や気力を充実させてきましたが、年齢を重ねるにつれ日々の生活で疲れることも。それでも、道着を着て稽古場に足を運び自然と全身に力がみなぎってくるそうです。長谷川さんは「道着を着ると気持ちが引き締まります。汗をびっしょりかきながら、私に向かってくる子どもの姿を見ると、自分も負けられないなと思えます」と笑顔を見せます。

「剣道を通して、心の強い人間になってほしい」そんな思いで、長谷川さんは人生の半分を剣道の指導に捧げてきました。今後も体力が続く限り、この活動に携わっていくと心に決めているそうです。子供たちが将来、社会で活躍していくことを期待して、これからも長谷川さんの熱のこもった指導は続きます。

はじめまして



平成25年12月生まれのお子さんを募集します

○10月1日水～31日金に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、11月4日(火)午後2時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成25年10月生まれのおともだち ★★★



山田 陽翔ちゃん(持田)
平成25年10月1日生まれ
父・陽介さん 母・恵美さん
「元気にすくすく育ってね!」



吉野 莉々渚ちゃん(城西)
平成25年10月21日生まれ
父・美洋さん 母・由佳さん
「吉野家の おてんばお姫様♡」



松島 梨乃ちゃん(持田)
平成25年10月7日生まれ
父・徹さん 母・みな美さん
「我が家の マスコットガール☆」



田代 まつりちゃん(佐間)
平成25年10月17日生まれ
父・善彦さん 母・真希さん
「まつりの笑顔が見れて 毎日幸せだよ♡」



富田 雅愛ちゃん(野)
平成25年10月18日生まれ
父・耕平さん 母・麻美さん
「姉妹仲良く元気にね♡」



石田 晃平ちゃん(白川戸)
平成25年10月4日生まれ
父・貴之さん 母・忍さん
「癒し系 美男子!!」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!!

有限会社瀬山農具製作所

農業に携わる方を全力でサポート



会社プロフィール

代表取締役社長 瀬山 文孝
【事業内容】農業機械の販売・修理

古くから豊かな水と土壌に恵まれ、関東でも有数の穀倉地帯として知られている行田市では、今も多くの農産物が生産されています。今月は、農業機械の販売・修理を行い、農家の皆さんと1世紀にわたり共に歩んできた有限会社瀬山農具製作所を紹介します。これまで時代の流れに合わせた農具を確かな目で選び、農業者に提案してきた同社。地域の農業を支える「農機のドクター」として定期的にお客さまの自宅を1軒1軒訪問し、機械の状態を確認するなど、地域に根付いたサービスも展開しています。代表取締役社長の瀬山文孝さんは、「創業以来、耐久性や操作性、さらには経営状況などを総合的に検討し、最も適した農具を提供しています。行田の農業に少しでも貢献することがわが社の使命です」と語ります。

日本の農業は、農業者の高齢化や担い手不足など農業の根幹を揺るがす問題に直面しており、行田も同様です。同社では、そのような状況の中でも、農業者の経済的・肉体的負担を少しでも軽減するため、今まで手作業でしかできなかった農作業にも対応できる、比較的安価な農具をいち早く紹介。農具を通して農業を支える人々を全力でサポートしています。また、新たな取り組みとして、平成21年から「レンタル農具事業」を開始。農具を必要とときに借りることができるサービスとあって、これから農業を始めようと思つている方やレンタル農園で農作物を栽培している方から大変好評で、東京や神奈川県からの依頼が半数を占めているそうです。さらに、平成24年には行田の農業を盛り上げようと、近隣の耕作されていない農地を借り、行田在来枝豆やジャガイモなどの栽培をスタート。特にジャガイモは、市内の学校給食に使用されるなど「地産地消」にも大きく貢献しています。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

- | | | | |
|----|-------------------|-----------------|-----------|
| 俳句 | 荒木 藤田 栄之 | 取入れを控えて機械点検し | 矢場 大谷 良一 |
| | あてどなくこれからのこと無月の歩 | | |
| | 柵田町 財津ミチエ | 母ならば母の手土産花茗荷 | 忍 丸山 連子 |
| | 折々の苦難砕いて女郎花 | | |
| | 城西 八木橋近蔵 | 相続も茶飲み話の敬老日 | 城西 鈴木 正夫 |
| | 尾を振りておたまじゃくしの愛らしき | | |
| | 向町 小沼 重蔵 | 蝉しぐれ夏の終りを告げて鳴く | 城西 山下 利江 |
| | 雨蛙聴かせ所は顎で鳴き | | |
| | 持田 丸山 麟一 | クモの糸顔をとられて後退り | 城西 新井 俊彦 |
| | 露天風呂一人静かに虫を聞く | | |
| | 荒木 森田 静 | 雲の峰高原にある無人駅 | 城南 橋本千枝子 |
| | 考える事もなさそな金魚かな | | |
| | 前谷 町田 貞子 | 田めぐりの風透きとほる今朝の秋 | 南河原 若林 水翁 |
| | 冷汁の胡麻は命のつなぎ舟 | | |
| | 持田 大庭 光扇 | 亡き人の足音響く風の盆 | 長野 吉野 らん |
| | 孫からの山の絵はがき涼もらう | | |
| | 野 川名久美子 | 山裾を真赤に染める曼珠沙華 | 城南 町田 達男 |
| | 盆提灯吊りて仏の来給へり | | |
| | 下中条 梶原 銃司 | 晩酌の旨き秋でも八酌で | 天満 青柳 欣吾 |
| | 息災に生きる喜び天高し | | |
| | | (三沢 一水 監修) | |